

令和4年度 下野三楽園事業報告

I 法人事業

1 理事会・評議員会等の開催

(1) 役員会(理事会)の開催状況

	開催日	主な審議決定事項	出席状況
第1回	R4.6.1(水)	1 令和3年度事業報告及び決算報告 [監事監査：R4.5.20(金)] 2 分園型小規模グループケア整備計画 3 定時評議員会の招集事項	理事 5名 監事 2名
第2回	R4.11.1(火)	1 分園型小規模グループケア整備計画の一部 改正 2 分園型小規模グループケア整備にかかる建 設用地の取得	理事 4名 監事 3名
臨時	R5.2.22(水)	1 分園型小規模グループケア建設用地の売買 契約の締結	書面決議 理事 6名 監事 3名
第3回	R5.3.17(金)	1 令和4年度第一次補正予算 2 令和5年度運営方針及び事業計画 3 令和5年度予算 4 定款細則の改正 5 運営管理規程の改正 6 経理規程の改正 7 評議員会の招集事項 8 分園型小規模グループケア整備の進捗状況	理事 6名 監事 2名

(2) 評議員会の開催状況

	開催日	主な審議決定事項	出席状況
第1回	R4.6.16(木)	1 令和3年度事業報告 [監事監査：R4.5.20(金)] 2 令和3年度決算 3 分園型小規模グループケア整備計画	評議員 6名 監事 2名

第2回	R5.3.28(火)	1 令和4年度第一次補正予算 2 令和5年度運営方針及び事業計画 3 令和5年度予算 4 定款細則の改正 5 運営管理規程の改正 6 経理規程の改正 7 分園型小規模グループケア整備の進捗状況	評議員 6名 監事 2名
-----	------------	--	-----------------

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況
開催なし

II 施設運営

1 児童の入所状況

(1) 措置児童

年齢区分		令和4年度				令和5年度
		R4. 4. 1 現在	入 所	退 所	R5. 3.31 現在	R5. 4. 1 現在
幼 児	男	1	2		3	3
	女	2	1		3	3
	計	3	3		6	6
小学生	男	4	2		6	5
	女	9		1	8	6
	計	13	2	1	14	11
中学生	男	6		1	5	5
	女	6			6	6
	計	12		1	11	11
高校生	男	2		1	1	2
	女	5		2	3	5
	計	7		3	4	7
計	男	13	4	2	15	15
	女	22	1	3	20	20
	計	35	5	5	35	35

※ R5.4.1現在の年齢区分は、新年度での入学等があるため3.31現在とは異なる。

(2) 一時保護

年齢	性別	一時保護期間等	備考
		なし	

(3) ショートステイ(宇都宮市・上三川町)

	年齢	性別	利用期間	備考
			なし	

2 入所児童の支援

(1) 年間指導計画及び行事計画に基づく事業の実施

別紙1のとおり (P 7 ~ P 10)

(2) 園情報誌(さんらくえん通信)の発行

年2回発行 第46号(9月)、(第47号(4月))

(3) 基礎学力の向上

- ・公文式学習を実施 (小学生 : 算数、日・月・水・金・土、中学生 : 数学、日・月・水・金)
- ・中学生を対象として市内の学習塾への通塾を行った。

(4) 自立支援計画の策定及び実施

各児童の現況と問題点等を概ね6か月ごとに話し合い、児童の意見を聴いたうえで児童相談所と協議し自立支援計画書を策定した。この計画書は児童相談所と共有し児童の支援に活用している。

(5) 地区との連携

篠井地区連合自治会に三楽園自治会として登録し、園長が自治会長として毎月の会議等に出席している。また、毎年実施している球技大会、体育祭、防災訓練などに参加し、特に敬老会、「秋まつり」、「うどん祭り」では「さんらく太鼓」を披露している。

これらイベントは、令和3年度までは新型コロナウイルス感染拡大予防のため全て中止になっていたが、4年度の後半から徐々に再開されており、「秋まつり」、「うどん祭り」では3年ぶりに「さんらく太鼓」を披露することができた。

(6) ショートステイ事業

宇都宮市及び上三川町と契約しているが、受け入れ実績はなかった。

(7) 児童養護施設運営指針に基づく第三者評価を受審した。

また、児童の満足度調査のための児童アンケートを9月と3月の2回実施した。

(8) 部門別支援の実施

①小規模居室単位での支援

- ・畑での作物栽培(きゅうり、ミニトマト、なすなど)や収穫を行い、また、作った作物を丸かじ

- りしたり調理するなどして、育てる楽しみ・作る楽しみが体験できるようにした。
- ・楽しく食事をしながら、挨拶の習慣やマナーが身に付けられるように努めた。また、食を通して季節や行事に関する興味や、一般常識を理解する機会を持った。
 - ・居室ごとに子供と職員で調理を行う「居室炊飯」を毎月実施した。また、夏休みなどに実施していた居室単位での一泊旅行は中止したが、それに代わるイベントを各居室ごとに児童が中心となり企画し実施した。

②個別指導

- ・学校、児童相談所とのカンファレンスを実施した。
- ・支援困難児については、担当職員からの相談に基幹的職員が中心になってアドバイスを行うとともに、当該児童に対しても相談する時間を設けた。
- ・児童相談所や学校などの関係機関と連携し、日常生活での問題行動などについての情報交換を行って、共通理解と支援につながるように努めた。
- ・施設内での支援が困難となった児童について児童相談所等と協議し、他施設への措置変更を行った事案があった。

③心理療法

- ・個別の心理療法は小学生6名、中学生7名、高校生2名を対象として実施した。
- ・児童一人につき45分間の心理療法を、延べ33人に実施した。
- ・児童の年齢に応じて、箱庭療法、人形を用いた遊戯療法や面談を行った。
- ・児童が育った家庭背景を鑑み、正しい知識を伝えるため、また自身の身体と命を肯定するため性教育を行った。
- ・心理療法の結果は職員の打ち合わせや児童処遇会議等で報告し、また、担当職員と日常生活の様子を含めて共有することで、共に児童の理解を深め、養育に生かせるように努めた。
- ・心理職の技術向上のため、県外児童養護施設の心理担当職員のスーパーヴィジョンを受けている。

④親子関係の再構築支援

- ・児童と保護者の関係修復や改善のため、児童相談所と連携を取りながら、児童や保護者からの相談に対応し、支援に努めた。
- ・連絡が途絶えがちな保護者に対しては親子関係が疎遠にならないように支援しているが、コロナ感染対策のため夏休み期間中などの外出泊が制限された。
- ・そのような制限の中にあっても、外出泊を実施して家庭戻しにつながった児童があった。

⑤自立支援

- ・とちぎユースアフター事業協同組合主催の自立支援プログラム研修(年6回実施)に児童(主に高校生対象)を参加させ、社会性の向上など自立に向けての支援を行った。
- ・自立支援資金貸付事業(国庫) 利用実績なし

- ・退所予定児童就労支援事業(共同募金会) 令和4年度卒業児3名が利用した。
- ・園内宿泊訓練 実施しなかった
- ・社会復帰促進事業 実施しなかった

3 運営体制

運営会議(副主任以上の職員)、職員会議及び児童処遇会議を毎月定例開催し情報を共有するとともに、居室担当者会議やチームリーダー制を活用して職員間の意思統一と共通理解を図り、入所児童の適切な支援にあたった。

また、入所児童の食育を促進するための給食委員会を毎月開催し、子どもの嗜好調査や毎日の残食調査も行って支援に役立っている。

4 その他

(1) ボランティア及び寄附物品の受け入れ状況

別紙2のとおり (P 11 ~ P 13)

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

① 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、手指の消毒やマスクの着用などはもちろんのこと、外出や面会の制限などを継続して行った。

② 国や県の規制緩和に伴って保護者との面会や外出・外泊を再開しており、特に家庭戻しが予定されている児童については外泊を繰り返して行う必要があるため、保護者に対しても感染対策への理解を求めて協力を依頼し、円滑な家庭戻しを実現することができた。

児童が参加する地域のイベントなども徐々に再開している。

③ ワクチン接種について、児童は5歳未満の3名と保護者の同意が得られない2名を除き、中学生以上は4回、小学生は3回接種した。職員も全員が4回以上接種している。

④ 新型コロナウイルス感染事案

令和4年4月21日から23日にかけて、職員2名・児童1名が新型コロナウイルスに感染する事案が発生したが、感染対策を徹底するなど所要の対応を行って拡大を防止した。

また、同年12月13日から16日にかけて児童3名が感染したため、居室からの分離を行い別室に移動して対応したが、職員への感染はなかった。

(3) 過年度の卒園生の状況

別紙4 (P 14) のとおり

Ⅲ 公益事業

1 とちぎユースアフターケア事業

① 自立支援プログラム研修会への参加 延べ参加者数37名

開催日	内 容	参加児童数
第1回 R4.6.26	研修会「インターネットについて」とボウリング	7
第2次回 R4.7.23	性教育「ココロと体について考えよう」	7
第3回 R4.9.10	「アンガーマネジメント」について	7
第4回 R4.10.30	法律知識「社会に出て役立つ法律知識」&テーブルマナー(和食)	5
第5回 R4.11.20	料理コンテスト「食肉加工品を使った料理」	2
第6回 R5.2.12	冠婚葬祭マナー及びテーブルマナー(洋食)	3
地区別 R5.1. 14	先輩との話し合い [本園卒園児が講師として参加]	6

② 生活資金等の貸付事業

R4年度貸付実績 なし